



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月12日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	16,679	2.8	466	48.4	450	47.9	317	45.7
30年3月期第2四半期	16,220	10.0	314	45.9	304	44.1	218	50.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 390百万円 (89.9%) 30年3月期第2四半期 205百万円 (55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	100.91	—
30年3月期第2四半期	69.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	12,721	2,594	20.0	808.58
30年3月期	11,155	2,308	20.3	717.86

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 2,546百万円 30年3月期 2,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	1.5	591	34.5	582	26.0	400	33.3	126.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	3,150,000株	30年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	240株	30年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	3,149,781株	30年3月期2Q	3,149,789株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移し、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景に回復基調が持続しており、個人消費についても底堅く推移いたしました。また、世界経済においては、米国の通商政策の動向や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクなど、景気の先行きに不透明感はあるものの、全体的に緩やかな回復基調となりました。

食品飲料業界におきましては、消費者の健康志向や個食需要の増加など、多様なニーズに合わせた商品開発が活発化しておりますが、国内市場の縮小化による同業他社との競争激化や原材料価格の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。PB飲料製品の販売数量が減少したものの、食品副原料、乳製品、果汁・ピューレ類等の農産物加工品の販売数量が増加したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,679,643千円（前年同期比2.8%増）となりました。販売活動にともなう諸経費などの販売管理費が減少したことに加え、前年同期に比べ売上総利益率が上昇したことから、営業利益は466,737千円（前年同期比48.4%増）、経常利益は450,535千円（前年同期比47.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は317,836千円（前年同期比45.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、多様化した消費者ニーズに応えるため、重点ブランドの強化や新たな付加価値を備えた商品の開発を推し進めておりますが、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。大手コンビニエンスストア向けPB飲料製品の販売数量が減少したものの、主力商品であるビタミンCなどの食品副原料、生クリームなどの乳製品、野菜汁や果汁・ピューレ類などの農産物加工品の販売数量が増加いたしました。

この結果、売上高は16,210,014千円（前年同期比2.5%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。菓子メーカー向けPB商品の販売数量は減少したものの、業務用バルクアイスの販売数量が増加したことに加え、新規受注のPB商品の製造が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は425,055千円（前年同期比13.2%増）となりました。

<その他>

その他においては、FC事業がありますが、東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しております。同地区の就労人口の変動による影響があるものの、SQCの向上や店舗運営の効率化に努めたことにより、前年同期に比べ来店客数が増加し、販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は409,103千円（前年同期比2.8%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,541,452千円増加し、11,453,479千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ23,938千円増加し、1,267,670千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,565,390千円増加し、12,721,149千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,322,088千円増加し、8,560,457千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ43,010千円減少し、1,566,312千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べ1,279,078千円増加し、10,126,770千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ286,312千円増加し、2,594,379千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況および最近の経営環境等を踏まえ、平成30年5月12日に公表しました通期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、平成30年10月29日公表の「平成31年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正、平成31年3月期第2四半期累計期間の個別業績と前年実績値との差異および平成31年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,820,721	2,417,826
受取手形及び売掛金	5,432,843	6,228,602
商品及び製品	1,575,866	1,592,713
未着商品	589,708	695,392
原材料及び貯蔵品	25,955	33,039
未収入金	445,770	345,075
その他	27,590	148,281
貸倒引当金	△6,430	△7,452
流動資産合計	9,912,026	11,453,479
固定資産		
有形固定資産	446,464	414,836
無形固定資産	25,181	16,206
投資その他の資産	772,086	836,627
固定資産合計	1,243,732	1,267,670
資産合計	11,155,759	12,721,149
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,323,541	6,286,651
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	791,964	755,336
未払金	825,951	901,232
未払法人税等	137,476	143,963
賞与引当金	38,521	47,744
その他	120,913	225,530
流動負債合計	7,238,368	8,560,457
固定負債		
長期借入金	1,522,624	1,461,003
資産除去債務	4,513	4,552
その他	82,185	100,755
固定負債合計	1,609,322	1,566,312
負債合計	8,847,691	10,126,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,418,905	1,632,799
自己株式	△129	△170
株主資本合計	2,074,638	2,288,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,873	212,186
繰延ヘッジ損益	△7,165	5,212
為替換算調整勘定	23,775	40,940
その他の包括利益累計額合計	186,483	258,339
非支配株主持分	46,945	47,548
純資産合計	2,308,067	2,594,379
負債純資産合計	11,155,759	12,721,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	16,220,856	16,679,643
売上原価	14,746,444	15,093,019
売上総利益	1,474,411	1,586,624
販売費及び一般管理費	1,159,993	1,119,886
営業利益	314,418	466,737
営業外収益		
受取配当金	3,792	3,970
受取手数料	3,222	3,222
受取補償金	1,445	1,563
その他	671	1,739
営業外収益合計	9,132	10,495
営業外費用		
支払利息	5,018	5,276
為替差損	5,201	20,264
支払補償費	3,893	1,059
その他	4,894	97
営業外費用合計	19,008	26,697
経常利益	304,542	450,535
税金等調整前四半期純利益	304,542	450,535
法人税、住民税及び事業税	104,289	131,814
法人税等調整額	△14,143	2,154
法人税等合計	90,146	133,969
四半期純利益	214,396	316,566
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,750	△1,270
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,146	317,836

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	214,396	316,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,925	42,312
繰延ヘッジ損益	△74	12,377
為替換算調整勘定	1,163	19,039
その他の包括利益合計	△8,836	73,729
四半期包括利益	205,560	390,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,127	388,360
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,567	1,934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	304,542	450,535
減価償却費	44,233	44,015
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,100	1,022
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,715	9,222
受取利息及び受取配当金	△4,001	△4,329
支払利息	5,018	5,276
為替差損益(△は益)	△516	△12,388
売上債権の増減額(△は増加)	△2,819,399	△781,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△340,040	△128,102
未収入金の増減額(△は増加)	△15,065	100,700
前渡金の増減額(△は増加)	△704	△100,211
仕入債務の増減額(△は減少)	3,065,599	955,332
未払金の増減額(△は減少)	119,447	78,719
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,438	36,607
前受金の増減額(△は減少)	2,813	82,811
その他	△3,042	△13,597
小計	391,138	724,016
利息及び配当金の受取額	4,001	4,329
利息の支払額	△5,045	△5,316
法人税等の支払額	△46,145	△123,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,949	599,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,908	△7,052
差入保証金の差入による支出	△160	—
差入保証金の回収による収入	500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,568	△7,052
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	300,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△391,546	△448,248
リース債務の返済による支出	△11,903	△15,993
配当金の支払額	△94,238	△103,757
自己株式の取得による支出	—	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,687	△18,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,164	22,664
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,858	597,105
現金及び現金同等物の期首残高	1,735,586	1,820,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,868,444	2,417,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,717,367	105,694	15,823,061	397,795	16,220,856	—	16,220,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,326	269,855	366,182	—	366,182	△366,182	—
計	15,813,693	375,550	16,189,243	397,795	16,587,038	△366,182	16,220,856
セグメント利益	298,885	15,198	314,083	2,558	316,641	△2,223	314,418

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,223千円は、セグメント間取引消去△2,223千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,094,942	175,597	16,270,540	409,103	16,679,643	—	16,679,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115,072	249,458	364,530	—	364,530	△364,530	—
計	16,210,014	425,055	16,635,070	409,103	17,044,173	△364,530	16,679,643
セグメント利益	438,107	25,252	463,359	4,459	467,819	△1,081	466,737

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,081千円は、セグメント間取引消去△1,081千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。